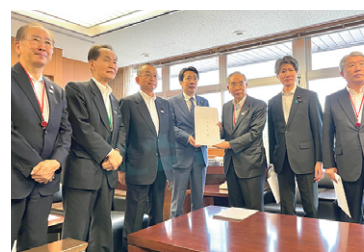


新幹線で四国は生まれ変わります！

- その1 4県都が1時間以内で結ばれることで、沿線都市が一体化し、人口200万人規模の“四国ネットワーク中枢都市圏”が形成されます。
- その2 四国一体の観光振興策や産学官連携・オープンイノベーションが推進され、四国経済が活性化します。
- その3 関西をはじめ西日本各地との相互交流が活発化します。
また、スーパー・メガリージョンと直結することで、その効果が四国に波及します。
- その4 災害に強い新幹線は、地域の防災力を格段に向上させます。
- その5 新幹線は四国の公共交通ネットワークを守る骨格になります。

四国新幹線整備促進期成会の活動

当会はこれまで四国の新幹線誘致に向け様々な活動をおこなってきました。
今後も四国の新幹線実現に向け、多様な取組みをおこなっていきます。



要望活動の実施



講演会やシンポジウムの開催



イベント出演による広報活動の実施

四国の新幹線実現には、**地元の皆さんの「新幹線を四国に！」との熱い思い**が
何よりも必要です。

四国の未来のために
四国の新幹線について
考えてみませんか？



COME ON
SHIKOKU!!

.....

さあ、次は四国の番だ。



四国新幹線整備促進期成会
四国の新幹線



/ 四国新幹線整備促進期成会



@tsunagun_459

【徳島県版】

新幹線が都市を変える 新幹線と四国の まちづくり調査

新幹線は四国の未来を変えるプロジェクト

四国4県都の
新幹線駅の
候補地案が
発表！？

／CHECK！／



本編



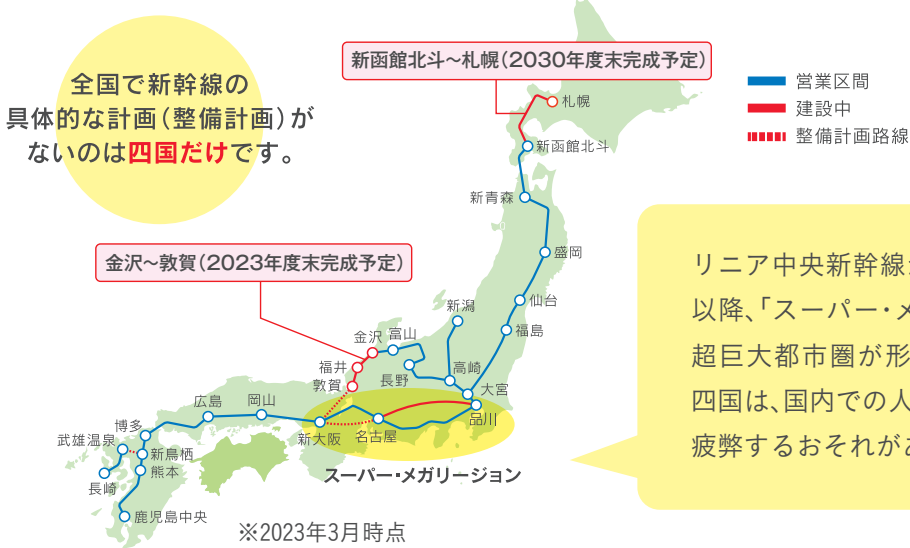
概要版



四国新幹線応援
キャラクター

新幹線は四国が生き残るための切り札です

全国新幹線鉄道網の整備状況



リニア中央新幹線が大阪まで延伸する2037年以降、「スーパー・メガリージョン」と呼ばれる超巨大都市圏が形成された際、新幹線のない四国は、国内での人流・商流圏域から疎外され、疲弊するおそれがあります。

新幹線が都市を変える〈新幹線の通る同規模都市の先行事例〉

新幹線開業効果によって目覚ましい発展を遂げている都市や開業に向けてまちづくりを進めている都市の事例を紹介します。

富山 市民生活の利便性向上



資料：富山市活力創造部

新幹線・富山駅の高架下へ路面電車の停留場が移設され、新幹線の改札口から約40mの近距離で乗り換えが可能になりました。

南北に分断されていた市街地は富山駅の高架下で「富山港線」と「富山軌道線」が接続したことで、南北を移動する利便性が大きく向上し一体感のあるまちへと生まれ変わりました。

福井 まちづくりの進展



資料：福井駅前電車通り北地区A街区市街地再開発組合

新幹線・福井駅付近は、鉄道の高架化と併せて土地区画整理事業を実施し、東西に分断されていた市街地の一体化を進めています。

また、土地の高度利用の機運も高まり、福井駅付近の複数の街区では、宿泊・商業施設、オフィスビル、駐車施設の建設など、中心市街地の再開発が進められています。

長崎 交流人口の拡大や企業の進出



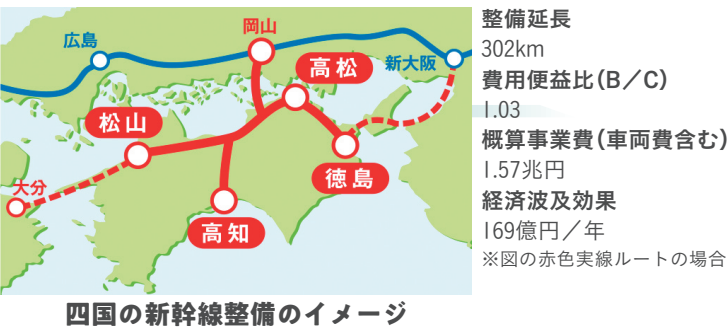
※構想段階のため今後デザイン含め変更の可能性があります。提供：ジャパネットホールディングス

地元民間資本による複合施設「長崎スタジアムシティプロジェクト」の整備(2024年開業予定)や、中心市街地・臨海部などでの再開発が進んでいます。

新幹線・長崎駅周辺では、コンベンションホールやイベント・展示ホールなどを備えた「出島メッセ長崎」も開業予定で、長崎市のまちづくりは「100年に一度の変化のとき」を迎えていると言われています。

さあ、次は四国の番だ！ 2037年の開業を目指して

四国の新幹線は、四国4県を結ぶ302kmの路線です。リニア中央新幹線が大阪まで延伸する2037年を一つのターゲットとして、開業を目指しています。



県都における新幹線駅の候補地イメージ(徳島県)

新幹線駅イメージ図



【候補地：鳴門エリア】

高松・岡山方面に加え、紀淡海峡ルートによる関西方面へのアクセスに優れる。

また、徳島阿波おどり空港にも近いことから、新幹線と空路の連携も期待できる。

他の候補地

【候補地：徳島阿波おどり空港付近】

徳島阿波おどり空港の付近に設置する案。

【候補地：徳島駅】

徳島駅に新幹線駅を併設する案。

新幹線整備で期待できる波及効果の一例

【観 光】

交流人口拡大・地域経済の発展

インバウンドを含む観光客の大幅増加や、四国内のみならず中国・関西・九州方面とのアクセスが飛躍的に高まることが期待できる。

高速交通インフラである新幹線が整備されることにより、移動時間の短縮が実現され、四国内はもとより中国・関西・九州方面とのアクセスが飛躍的に高まり、県内への観光客やビジネス客が大幅に増加することが期待できます。

また、新幹線が整備されれば、大阪ベイエリアにある5空港・7滑走路(関西国際空港・大阪国際空港・神戸空港・南紀白浜空港・徳島阿波おどり空港)との有機的連携により、都市部から地方への人の流れを創出するとともに、関西国際空港のインバウンド効果を四国内だけでなく日本全体に波及させることができ、交流人口の拡大や地域経済の発展をもたらすことが期待できます。

【産 業】

県内への企業進出の拡大

都市部とのアクセス向上により、サテライトオフィスをはじめとする企業誘致や県内でのワーケーションが拡大する。

新幹線整備により都市部とのアクセスが飛躍的に高まることで、現在も積極的誘致を展開している県内へのサテライトオフィスの進出がより一層促進されるとともに、ワーケーションなどの多様な働き方(暮らし方)を行う場所として、今以上に徳島が選択されることが期待できます。

【参考】過去に大都市圏から本社機能等を移転・進出した主な企業

形 態	企業名(本社所在地)	移転・立地先	内 容
本社機能の移転	コマツ(港区) 日機装(渋谷区) YKKグループ(千代田区) 白山(金沢市)	石川県小松市 石川県白山市 富山県黒部市 金沢市	本社研修機能の移転 研究開発部門の移転 本社機能の一部移転 本社登記地を東京から変更
研究開発部門の拡充	ダイト(富山市) YKK AP(千代田区) 日本カーバイド工業(港区) キョーリンリメディオ(金沢市)	富山市 富山県黒部市 富山県滑川市 富山県高岡市	医薬品関連の研究棟建設 研究開発拠点施設 新研究開発センター建設 医薬品関連の新研究所建設

資料：石川県、北陸経済研究所、各社ホームページ資料を基に作成